

日本うま味調味料協会 御中

## “化学調味料無添加”表示関連消費者調査

--- 結果分析報告書 ---

1. 調査概要
2. 主要結果
3. まとめ
  - ①:「化学調味料」の認識
  - ②:若年層における「化学調味料無添加」希薄化
  - ③:無添加表示の購買行動への影響
  - ④:「化学調味料」理解度が購買決定に及ぼす影響
  - ⑤:「化学調味料無添加」表示の理解と購買行動への影響

2012年2月9日

株式会社 エム・ディ・アイ ラボラトリ

# 1. 調査概要

## 調査概要

### 【調査目的】 一般消費者の

- 1) "化学調味料"の言葉の定義・理解の確認
- 2) "化学調味料無添加表示"の理解・認識の確認
- 3) "化学調味料無添加表示"の購買動機影響度合いの確認

【実施時期】 2012年1月13日～1月16日

【調査方法】 Web調査。  
女性20歳～74歳 計750名(人口比割付)

### 【調査内容】

#### 一般消費者の認識:

- ・化学調味料
- ・無添加

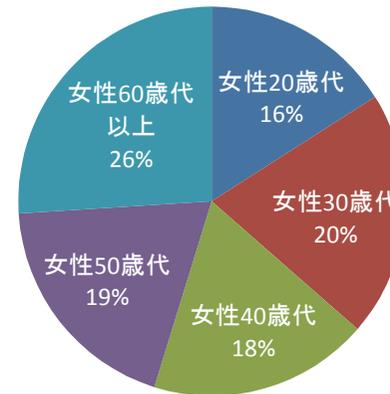


#### 一般消費者の意識・行動:

- ・"無添加"のイメージ
- ・購買行動影響

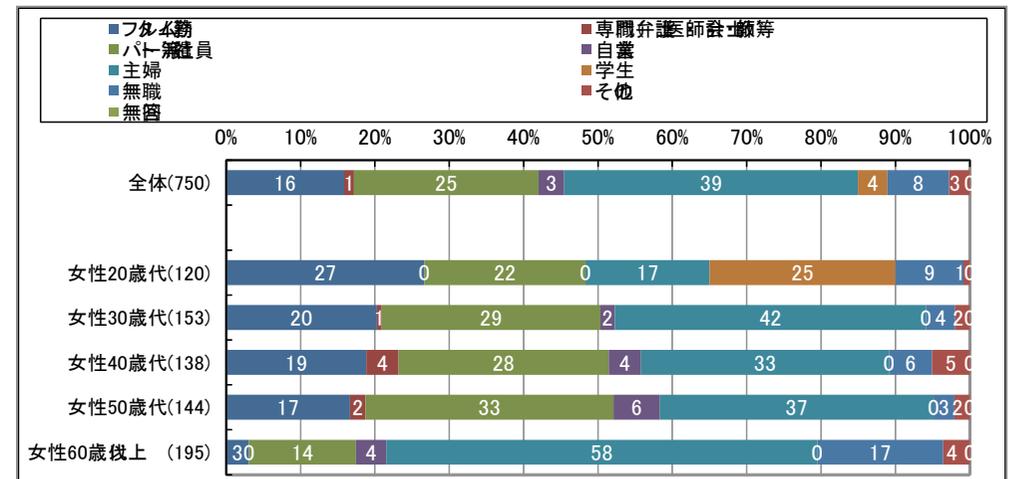
- 1) "化学調味料"の物質の定義についての認識
- 2) "化学調味料"の蓋然的判断の具体例  
・"化学調味料と言えば△△△"
- 3) "化学調味料無添加表示"の形成するイメージ
- 4) 購買決定要因の中の"無添加表示"の位置づけ

## 調査サンプル



年代	人数	割合
女性20歳代	120	16%
女性30歳代	153	20%
女性40歳代	138	18%
女性50歳代	144	19%
女性60歳以上	195	26%
合計	750	100%

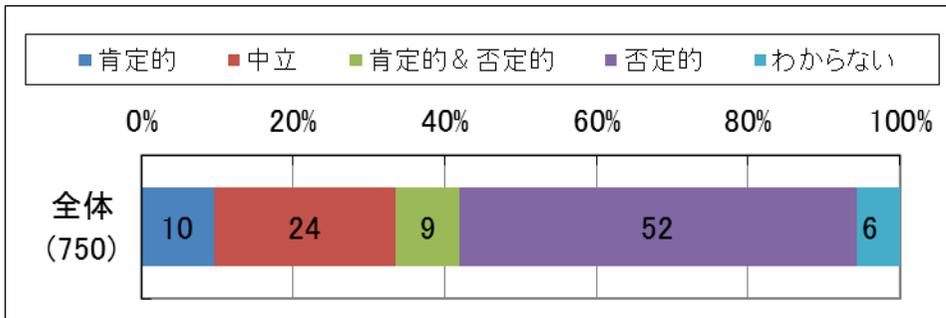
### 職業別分布(全体・年代別)



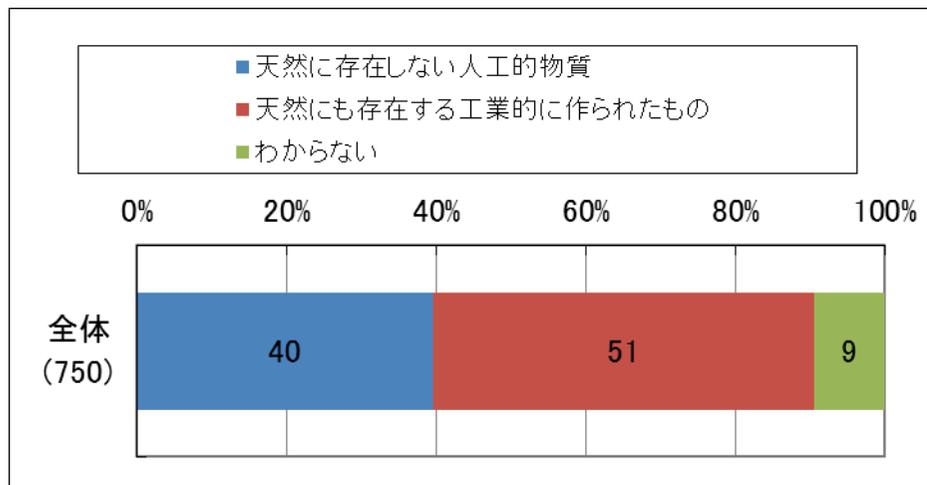
## 2-1) 主要調査結果: Q1~Q3

全体(女性サンプル計750・・・人口比割付)の結果を設問別に一覧する。

Q1. “化学調味料”という言葉にどのようなイメージをお持ちですか？(FA)

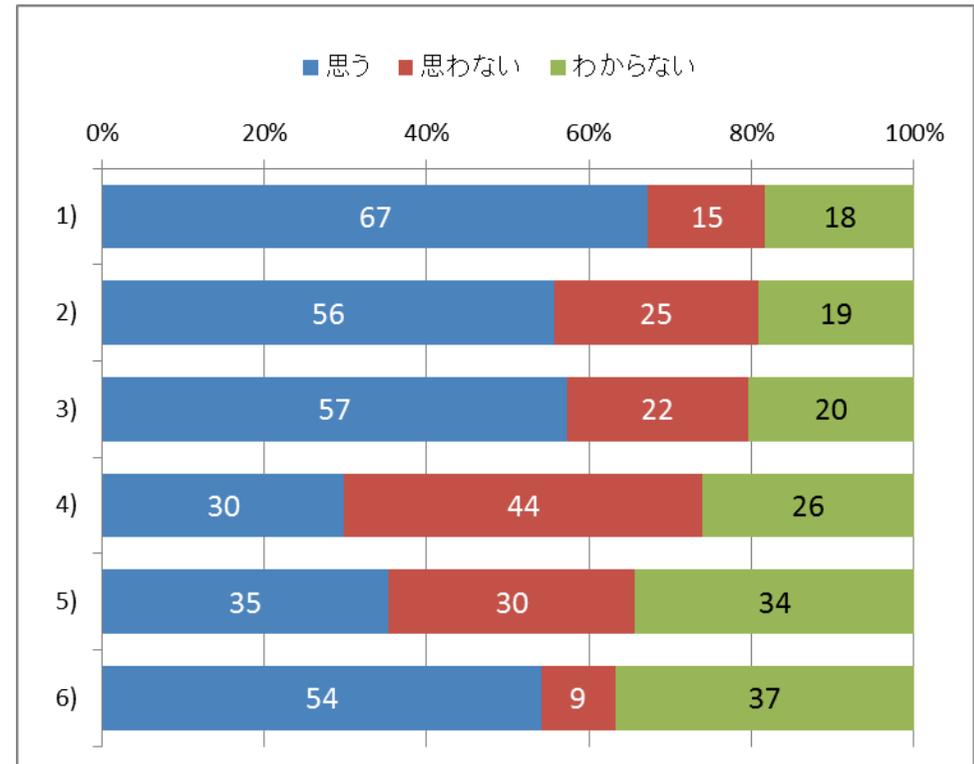


Q2. “化学調味料”という言葉についてあなたの理解に当てはまるものはどれですか？(SA)



Q3. 以下のものはあなたの理解では“化学調味料”に入りますか？(「思う」のみ)

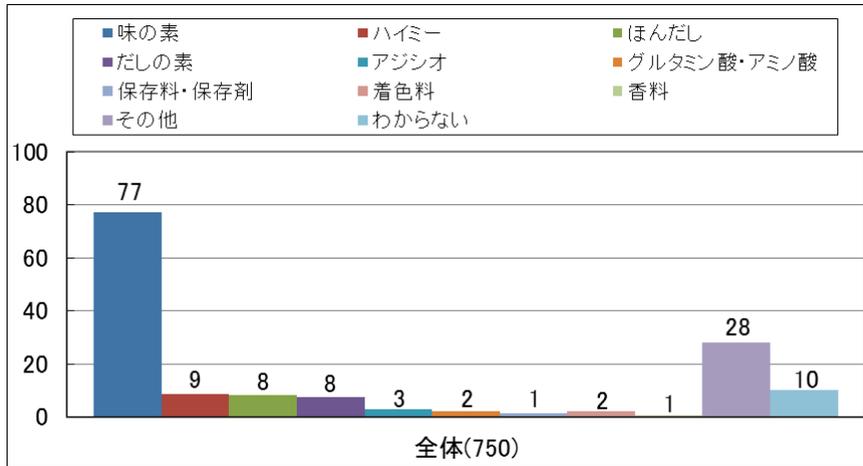
- 1) 甘味料・酸味料等、味に影響を与えるあらゆる添加物
- 2) 保存料・着色料・乳化剤等、味にはほとんど影響を与えない添加物
- 3) アミノ酸・核酸等、調味料に分類される添加物
- 4) 酵母エキス(調味料として加工食品に使用される)
- 5) 蛋白加水分解物  
(大豆搾り粕等を塩酸等で分解したもの。調味料として加工食品に使用される。)
- 6) 酸・アルカリ等を加えて調整を行いながら培養された微生物の培養液に、トルエン等\*を添加して自己消化を行った後、乾燥された粉末調味料



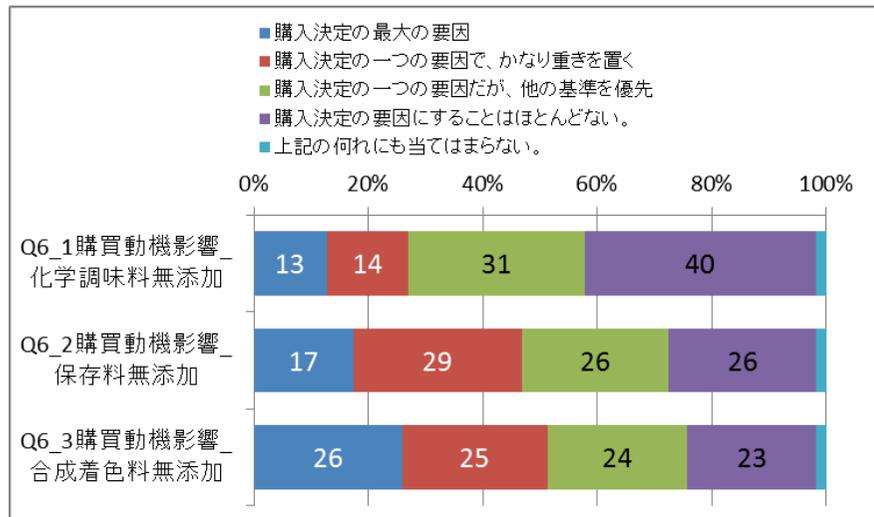
\*; 食品製造工程におけるトルエンの使用に関しては、JECFAで食品添加物(抽出溶剤)としての評価実績があるため、国によっては使用を認めているが、日本では認められていない。

## 2-2) 主要調査結果: Q4~Q6

Q4. “化学調味料”にあてはまるとあなたが考えるもの(品種や商品名)でご存知のものをあげてください(3つまで)。



Q6. 食品を購入される時に以下に挙げる表示がされている場合にどの程度購入の決め手になりますか？(SA)



Q5. “化学調味料無添加”という表示のある食品を見た時に以下の項目についてどのように思いますか？

- “化学調味料”と同物質(同一成分)は含まれていない。
- “化学調味料”を添加していないだけであって、他の原料由来で“化学調味料”と同一の成分が含まれている。
- “化学調味料”は、摂取すると健康上問題が起こる可能性がある。
- “化学調味料”を使った食品より安全である。
- 単なるセールストークで、たいした意味はない。
- “化学調味料”を使った食品より安心である。
- “化学調味料”を使った食品より高級である。
- “化学調味料”を使った食品より美味しい。

